令和８年10月14日

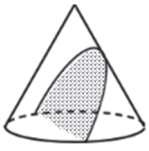
アガルートアカデミー

お客様各位

この度は、アガルートアカデミーの講座をご受講いただきまして誠にありがとうございます。
以下のとおり、テキストに誤りがございますので、訂正の上ご利用いただきますようお願い申し上げます。
ご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げます。

2026合格目標　公務員 数的処理対策講座　判 断 推 理　訂正情報

該当箇所を、次のように訂正していただきますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	正	更新日
135	問51 その他① 表Ⅲ　行Ａ列Ｅ	（空欄）　5	×	5	25/7/23
135	問51 その他① 表Ⅲ　行Ｆ列Ａ	（空欄）　2	×	2	25/7/23
135	問51 その他① 表Ⅴ　行Ｂ列Ｄ	○　4	×	4	25/7/23
135	問51 その他① 表Ⅴ　行Ｄ列Ｂ	×　4	○	4	25/7/23
276	問111 折り紙⑦ ４行目	よって、１回目は「ＢとＤ」「ＦとＨ」の間のスペースが……	よって、１回目は「Ｂと**Ｆ**」「**Ｄ**とＨ」の間のスペースが……	25/7/23
286	問116 位相⑤ ８行目以降	……他の２都市とだけ結ばれているのは、③および④である。すなわち、③④がＣ市、Ｄ市のいずれかとなる。 図Ⅱは、③をＣ市、④をＤ市としたものである。 図Ⅲは、図Ⅱの逆に、③をＤ市、④をＣ市としたものである。	……他の２都市とだけ結ばれているのは、**②**および④である。すなわち、**②**④がＣ市、Ｄ市のいずれかとなる。 図Ⅱは、**②**をＣ市、④をＤ市としたものである。 図Ⅲは、図Ⅱの逆に、**②**をＤ市、④をＣ市としたものである。	25/7/23
298	②円錐の切断面 【放物線】			25/7/23
302	１行目 表題	【有名な立体の切断面】	【有名な立体の**展開図**】	25/7/23
326	問131 切断② 解説文 下から４行目	・四角形EGCD	・四角形EG**DC**	25/7/23

330	問133 切断④ 解説文　９行目	……ＡＢＣＤＥＦは同一平面上なので、これらを結んだ六角形ＡＢＣＤＥＦが切断面となる。	……ＡＢＣＤＥＦは同一平面上なので、これらを結んだ六角形**ＡＢＥＣＦＤ**が切断面となる。	25/7/23
344	問140 正多面体① ５行目	・正八面体は面が８個→できる多面体の頂点は８個→できる多面体は正十二面体	・正八面体は面が８個→できる多面体の頂点は８個→できる多面体は**正六面体**	25/7/23
392	問161 投影図⑧ 解説文全体	※　解説文につきまして、本訂正表添付のものに差替えいただきますようお願いいたします。		25/7/23

2026合格目標　公務員 数的処理対策講座　 数 的 推 理　訂正情報

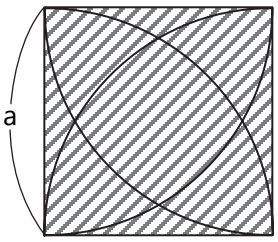
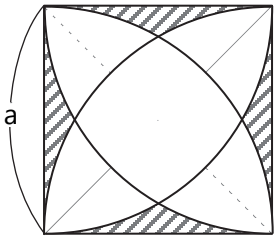
該当箇所を、次のように訂正していただきますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	正	更新日
11	問5 数の性質⑤ 問題文　1行目	13^{19} と13^{19} の和の一の位の数をA，……	13^{19} と19^{13} の和の一の位の数をA，……	25/5/14
22	問9 因数分解① ＜解説＞３行目以降 「１．a^2は８で割り切れない条件について」	①ｐ＝１のとき $a=2\cdot3^q\cdot m$ なので $a^2=2^2\cdot3^q\cdot m=4\cdot3^q\cdot m$ （中略） ②ｐ＝２のとき $a=2^2\cdot3^q\cdot m$ なので $a^2=2^4\cdot3^q\cdot m=16\cdot3^q\cdot m$ （中略） ③ｐ＝３のとき $a=2^3\cdot3^q\cdot m$ なので $a^2=2^6\cdot3^q\cdot m=64\cdot3^q\cdot m$	①ｐ＝１のとき $a=2\cdot3^q\cdot m$ なので $a^2=2^2\cdot3^{2q}\cdot m^2=4\cdot3^{2q}\cdot m^2$ （中略） ②ｐ＝２のとき $a=2^2\cdot3^q\cdot m$ なので $a^2=2^4\cdot3^{2q}\cdot m^2=16\cdot3^{2q}\cdot m^2$ （中略） ③ｐ＝３のとき $a=2^3\cdot3^q\cdot m$ なので $a^2=2^6\cdot3^{2q}\cdot m^2=64\cdot3^{2q}\cdot m^2$	25/7/23
32	【倍数の理解】 「例）４，６，10，15の最小公倍数」表	2 3 2　1　1　1	2 3 5 2　1　1　1	25/7/23
107	等比数列 【等比数列に関する公式】 ⑵ 和について	$\left(\text{初項から第}n\text{項までの和}\right)=\left(\text{初項}\right)\times\dfrac{\left(\text{公比}\right)^{n-1}-1}{\left(\text{公比}\right)-1}$	$\left(\text{初項から第}n\text{項までの和}\right)=\left(\text{初項}\right)\times\dfrac{\left(\text{公比}\right)^{n}-1}{\left(\text{公比}\right)-1}$	25/7/23

130	問52 方程式② 解説文 2行目以降	当該期間のうち，快晴でない$(x-5)$日の1日当たりの来客数が167.5人であることから，快晴であった5日間の日当たりの来客数は $180x-167.5(x-5)=12.5x+837.5$（人） 一方，当該期間のうち，雨でない$(x-5)$日の1日当たりの来客数が190.0人であることから，雨であった5日間の1日当たりの来客数は $180x-190(x-5)=-10x+950$（人） 条件より， $12.5x+837.5=2.8(-10x+950)$ $12.5x+28x=2660-837.5$ $40.5x=1822.5$ $x=45$ より正解は肢3。	当該期間のうち，快晴でない$(x-5)$日の1日当たりの来客数が167.5人であることから，快晴であった5日間の来客数は $180x-167.5(x-5)=12.5x+837.5$（人）。 一方，当該期間のうち，雨でない$(x-5)$日の1日当たりの来客数が190.0人であることから，雨であった5日間の来客数は $180x-190(x-5)=-10x+950$（人）。 条件「快晴であった5日間の1日当たりの来客数が，雨であった5日間の1日当たりの来客数の2.8倍であった」ことから， $(12.5x+837.5)\div 5=2.8\times(-10x+950)\div 5$ $12.5x+837.5=2.8(-10x+950)$ $12.5x+837.5=-28x+2660$ $12.5x+28x=2660-837.5$ $40.5x=1822.5$ $x=45$ より正解は肢3。	26/3/4
140	問57 方程式⑦ 解説文 下から3行目	⑤－①より，……	⑤－③より，……	25/7/23
144	問58 整数解① 解説文 5行目	金額：$100x+10y+z=1500$より……	金額：$100x+10y+5z=1500$より……	25/3/19
154	問63 整数解⑥ 解説文 7行目	まず，②より$5y$が5300を超えると不適なので，$5y$は必ず5300以下である。	まず，②より$500y$が5300を超えると不適なので，$500y$は必ず5300以下である。	26/9/16
174	Guide 最終行	x ＞ 3（両辺を－3で割った）	x ＞－3（両辺を－3で割った）	24/11/6
180	問73 不等式③ 解説文 6行目以降	条件イから B+20 ≧ C ≧ (AからCまでの合計)×0.5-7 AからCまでの合計は105人なのでB+20 ≧ C ≧ 105×1/2-7，よって整理すると……	条件イから B+20 ≦ C ≦ (AからCまでの合計)×0.5-7 AからCまでの合計は105人なのでB+20 ≦ C ≦ 105×1/2-7，よって整理すると……	25/5/14
188	問77 不等式⑦ 解説文 4行目	……すなわちy＝－3/2x＋k/8…③と表せて，……	……すなわちy＝－7/4x＋k/8…③と表せて，……	25/5/14

194	問79 比・割合② 解説文 下から４行目	90a＋1.35x＋(45a－0.75ax) =138a	90a＋1.35ax＋(45a－0.75ax) =138a	26/8/19
202	問83 比・割合⑥ 解説文 ８行目	$x-z+116=1.06y$	$y-z+116=1.06y$	25/7/23
238	問95 基本② 解説文 10行目 （25/7/23訂正表に誤りがありました）	$\frac{x}{v+\frac{3v}{4}}+10=\frac{x}{v+\frac{4v}{5}}$ $\frac{x}{v+\frac{4v}{5}}-10=\frac{x}{v+\frac{3v}{4}}$	$\frac{x}{v+\frac{4v}{5}}+10=\frac{x}{v+\frac{3v}{4}}$	25/8/27
240	問96 基本③ ３行目・７行目	……4800km進むには$\frac{4800}{3}=16$時間かかる。 （中略） 4800km進むには$\frac{4800}{2}=24$時間かかる。	……4800km 進むには$\frac{4800}{300}=16$時間かかる。 （中略） ……4800km 進むには$\frac{4800}{200}=24$時間かかる。	25/7/23
246	問99 基本⑥ 下から６行目以降	正解は肢２。 Cの速度をｖとおく。……正解は肢２。	正解は肢２。 ~~Cの速度をｖとおく。……正解は肢２。~~	25/7/23
250	問101 基本⑧ 下から９行目～４行目	Aが出会うまでに歩くｔ分間の移動距離を，Bは出会ってからの4分で歩くので $a\times t=b\times 4$　つまり　$at=4b$ …① Bが出会うまでに歩くｔ分間の移動距離を，Aは出会ってからの9分で歩くので $b\times t=a\times 9$　つまり　$bt=9a$ …② 求めるのはｔなので，ａとｂを消したい。①より$b=\frac{at}{4}$を②に代入し， $\frac{at}{4}\times t=9a \rightarrow at^2=36a \rightarrow t^2=36 \rightarrow t=6$	Aが出会うまでに歩くｔ分間の移動距離を，Bは出会ってからの9分で歩くので $a\times t=b\times 9$　つまり　$at=9b$ …① Bが出会うまでに歩くｔ分間の移動距離を，Aは出会ってからの4分で歩くので $b\times t=a\times 4$　つまり　$bt=4a$ …② 求めるのはｔなので，ａとｂを消したい。①より$b=\frac{at}{9}$を②に代入し， $\frac{at}{9}\times t=4a \rightarrow at^2=36a \rightarrow t^2=36 \rightarrow t=6$	25/12/17
254	問103 流水算・旅人算②　６行目	同じ距離を行くのに，上りと下りの時間の比が1.5：1，整数に直すと2：3である。……	同じ距離を行くのに，上りと下りの時間の比が 1.5：1，整数に直すと３：２である。……	25/7/23

278	問113 仕事算・ニュートン算④ 解説文 下から４行目	$2x^2+13x=x^2+13x+26$	$2x^2+13x=x^2+13x+\mathbf{36}$	25/7/23
290	問118 その他の文章題② 解説文 14行目以降	(1,1000), (2,500), (4,250), (5,20), (8,125), (10,100), (20,50) の８通りあるが，このうち片方が奇数で片方が偶数なのは (1,1000), (5,200), (25,40), (125,8) である。	(1,1000), (2,500), (4,250), (5,**200**), (8,125), (10,100), (20,50), **(25,40)** の８通りあるが，このうち片方が奇数で片方が偶数なのは (1,1000), (5,200), **(8,125)**, (25,40) である。	25/7/23
296	問121 その他の文章題⑤ 解説文 下から４行目	$\frac{2}{11}\times 150=\frac{3000}{11}=27+\frac{3}{11}$ つまり……	$\frac{2}{11}\times 150=\frac{\mathbf{300}}{11}=27+\frac{3}{11}$ つまり……	25/7/23
308	問125 場合の数の基本② 解説文 ４行目	……一の位は十の位に使った以外の数字の９通り。	……一の位は十の位に使った以外の数字の**８通り**。	25/3/19
338	問140 組合せ⑤ 解説文 下から４行目以降	よって，求める場合の数は，「９本の横線から２本選び，４本のナナメ線から２本選ぶ」場合の数となり，……	よって，求める場合の数は，「９本の横線から２本選び，**５本**のナナメ線から２本選ぶ」場合の数となり，……	25/7/23
404	問169 長さ・角度③ 解説文 図下・最終行	∠ＦＢＣを求める （中略） ……よって∠ＦＢＣ＝25°	∠**ＦＣＢ**を求める （中略） ……よって∠**ＦＣＢ**＝25°	25/7/23
404	問169 長さ・角度③ 解説文 下から７行目・４行目	∠ＦＣＢを求める （中略） ……＝35° より∠ＦＣＢ＝35°	∠**ＦＢＣ**を求める （中略） ……＝35° より∠**ＦＢＣ**＝35°	25/7/23
404	問169 長さ・角度③ ＜解説＞下から２行目	∠ＢＦＣ＝180°－(∠ＦＢＣ＋∠ＦＢＣ）＝180°－（35°＋25°）＝120°	∠ＢＦＣ＝180°－(∠ＦＣＢ＋∠ＦＢＣ）＝180°－（25°＋35°）＝120°	25/8/27
414	問174 長さ・角度⑧ ＜解説＞下から３行目	ＡＢ＝ＰＲ＝ＯＨ’より，	ＡＢ＝ＰＲ＝Ｏ’Ｈより，	26/10/21
416	問175 長さ・角度⑨ 解説文 下から２行目	よってＯＴ＝$\frac{1}{2}$ＯＡ＝$\frac{5}{2}$ＯＡが常に成り立つ。……	よってＯＴ＝$\frac{1}{2}$ＯＡ＝$\frac{5}{2}$が常に成り立つ。……	25/7/23

433	問184 面積⑧ 問題文３行目 図 ※右のとおり図の差替えをお願いします			24/12/18
434	問184 面積⑧ 解説文 下から２行目	求める面積は$4\cdot\left(a^2-\frac{\sqrt{3}}{4}\cdot a^2-\pi a^2\cdot\frac{\pi}{12}\cdot 2\right)=\left(4-\sqrt{3}-\frac{2\pi}{3}\right)a^2$	求める面積は$4\cdot\left(a^2-\frac{\sqrt{3}}{4}\cdot a^2-\pi a^2\cdot\frac{1}{12}\cdot 2\right)=\left(4-\sqrt{3}-\frac{2\pi}{3}\right)a^2$	24/4/10
436	問185 面積⑨ 解説文 下から２行目	$S=\pi\cdot 2^2\cdot\frac{\pi}{12}=\frac{\pi}{3}$	$S=\pi\cdot 2^2\cdot\frac{1}{12}=\frac{\pi}{3}$	24/12/18
439	問187 面積⑪ 各選択肢の単位	㎥（立法メートル）	㎡（平方メートル） ※各選択肢の単位のうち、「㎥」となっている箇所を「㎡」に変更してください。	25/7/23

2026合格目標　公務員 数的処理対策講座　資 料 解 釈　訂正情報

該当箇所を、次のように訂正していただきますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	正	更新日
2	基本用語 「1.増加率・減少率」 下から６行目	2013年＝2009年×(１＋0.035)×(１＋0.011)×(１－0.025)×(１＋0.013)＝1.033	2013年＝2009年×(１＋0.035)×(１＋0.011)×(１－0.025)×(１＋0.013)＝**2009年×**1.033	25/7/23
34	問12 指数・構成比⑤ 肢５解説文　１行目	動力他について、構成比は$\frac{0.4}{36.5}$×100 ≒ 1％の増加で……	動力他について、構成比は$\frac{0.4}{36.1}$×100 ≒ 1％の増加で……	24/12/18
67	問29 実数・割合④ 肢４　１行目	……すなわち検率は、1996年から2001年まで毎年前年を……	……すなわち**検挙率**は、1996年から2001年まで毎年前年を……	25/7/23
89	問38 指数・構成比④ 肢５　１行目	休日以外の日には自由にできる時間が「３時間以上５時間木満」である60～69 歳層の人数は，……	休日以外の日には自由にできる時間が「３時間以上５時間**未満**」である60～69 歳層の人数は，……	25/7/23
92	問39 指数・構成比⑤ 肢３解説文　１行目	両者の減少額の差（テレビの減少額－雑誌の減少額）は37408×（0.546－0.129）－27825×（0.644－0.09）≒37000×0.42－28000×0.05＝14140億＞０	両者の減少額の差（テレビの減少額－雑誌の減少額）は37408×（0.546－0.129）－27825×（0.644－0.09）≒37000×0.42－28000×**0.55**＝**140億**＞０	25/7/23
94	問40 指数・構成比⑥ 肢３解説文　２行目	……増加数は5200×（1.3－1.0）≒1620 （全体の増加数の15％）＝13000×0.15＝2025＞1620	……増加数は5200×（1.3－1.0）≒**1560** （全体の増加数の15％）＝13000×0.15＝**1950**＞**1560**	25/8/27
114	問49 増加率④ 肢１解説文　３行目	0.018＝0.01の増加であるため、	0.018＝0.001の増加であるため、	25/10/15

以　上

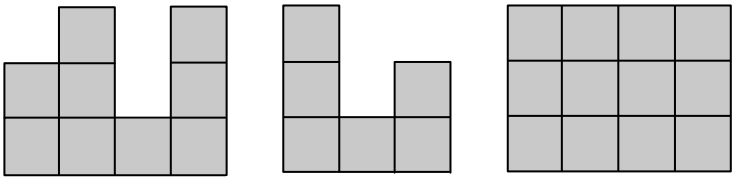
161　投影図⑧

出典
国家専門

□□□□□

同じ大きさの立方体の積み木を使い、積み上げた後、正面、右側、真上の３方向から眺めると、それぞれ次の図の形に見えた。このように見える立体を最も少ない数の積み木で作ったとすると、積み木は何個か。ただし、下の段の積み木の面と上の段の積み木の面が互いにはみ出さないようにぴったりと重ねて積み上げたものとする。

正面図　右側から見た図　真上から見た図



1　17 個
2　19 個
3　21 個
4　23 個
5　25 個

AGAROOT ACADEMY

真上から見て３×４の 12 箇所が埋まっているので、まず最下段に３×４を敷き詰め、その時点で 12 個必要である（正面図と右側図の最下段も埋まっている）。

これで真上の図の条件は満たせたので、次に正面図と右側図の条件を満たしていく。

正面図から、「左から 1 列目に＋１個、２列目に＋２個、３列目に０個、４列目に＋２個」必要であることがわかる。

右側図から、「手前の行に＋２個、奥の行に＋１個」必要であることがわかる。

正面図と右側図の条件を同時に配置していくと最少個数になる。よって、配置としては、

「左から１列目・奥に＋１個」（正面図と右側図の条件１個ずつ達成）

「左から２列目・手前に＋２個」（正面図と右側図の条件１個ずつ達成）

「左から４列目・手前に＋２個」（正面図の残り１条件達成）

となる。最少個数は 12+1+2+2=17 個となり、正解は肢１。

正解	1